

昭和61年度技術開発実施報告書

熊本営林局

(指示課題)

課 題	新規 別 継続	新規	経常・特別別	経常	担 当 課	計 画 課 造 林 課	開 発 箇 所	延 岡	期 間	昭和 61年度 ～ 昭和 66年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経費	品名	数量	単価	金額	
			目標との関連	1～ア									物件費	調査用品		円	円	
目的	カヤ林分育成試験												役務費	現像・その他				
													人件費	(基職) 臨時	() 1.25			()
													計	～				()
													年度					
													当 年					
													実施計画	実施結果	評価および普及計画			
													1. 試験地設定 2. 種子結実豊凶調査 3. 種子採取 4. 種子まき付	1. 試験地設定 2. 種子結実豊凶調査 3. 種子採取 4. 種子まき付				
													全体計画	実施経過				
													1. 試験地設定 (1) 試験区の区画 (2) 試験区の本数調整 2. 種子結実豊凶調査 3. 種子まき付(試験区, 苗畑) 4. 調査事項 (1) 生長量調査 (2) 林内相対照度調査 (3) 不定芽調査 (4) 発生調査 (5) 活着調査					

カシ林分育成試験

1. はじめに

カシの人工植栽及び人工下種による更新方法と保育等林業技術体系を確立するための試験を計った。

2. 試験地の設定

(1) 設定

昭和61年度

(2) 場所

大分県南海部郡早目町 夏木国有林 5林班

(3) 面積

0.80 ha

(4) 地況

ア. プロット No. 1 林内人工下種区 5林班 51班内
標高 1000m 方位 E 傾斜急 土壌型 B D-d

イ. プロット No. 2 樹下植栽区 5林班 4小班
標高 800m 方位 N 傾斜急 土壌型 B D-d

ロ. プロット No. 3 人工植栽区 (皆伐跡地) 5林班 4小班
標高 1000m 方位 N 傾斜急 土壌型 B D-d

ハ. プロット No. 4 人工下種区 5林班 4小班
標高 1000m 方位 N 傾斜急 土壌型 B D-d

(5) 林況

ア. プロット No. 1
ツガ その他広葉樹 100年生 株割り 250m²

イ. プロット No. 2
ツガ その他広葉樹 100年生 株割り 280m²

ロ. プロット No. 3 及び No. 4
皆伐跡地
前生樹 ツガ その他広葉樹 100年生 株割り 280m²

(6) 調査内容

ア. プロット No. 1 (林内人工播種区), プロット No. 4 (人工植栽区)

プロット面積 0.20 ha

40m x 50m のプロットを調査 (2 中 15 x 40m x 50m の

面積 200m² の標準地を設けた。

播種量 15 ha 当り 成立本数 500本 を目標とし

1 元当り 1-2 粒 播種する

イ. プロット No. 2 (樹下植栽区), No. 3 (人工植栽区)

プロット面積 0.20 ha

40m x 50m のプロットを設けて 中 15 x 40m x 50m の

標準地を設けた。

1 ha 当り 植栽本数 500本

図-1 試験地設定図

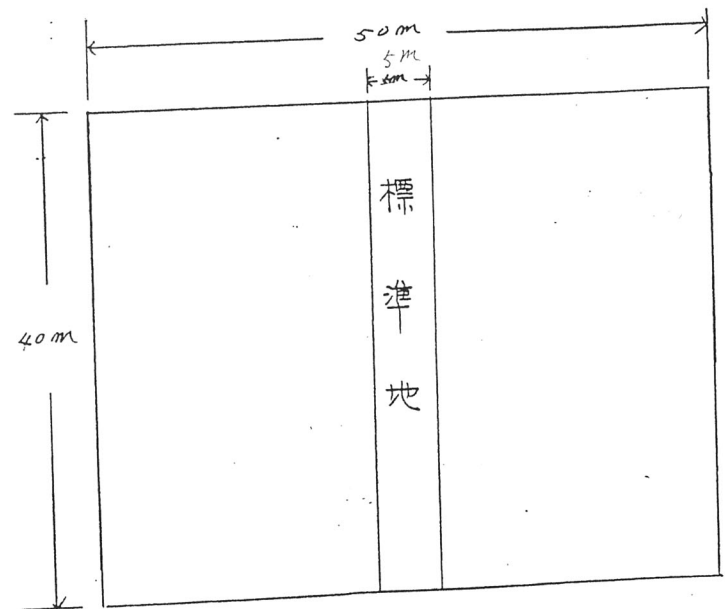
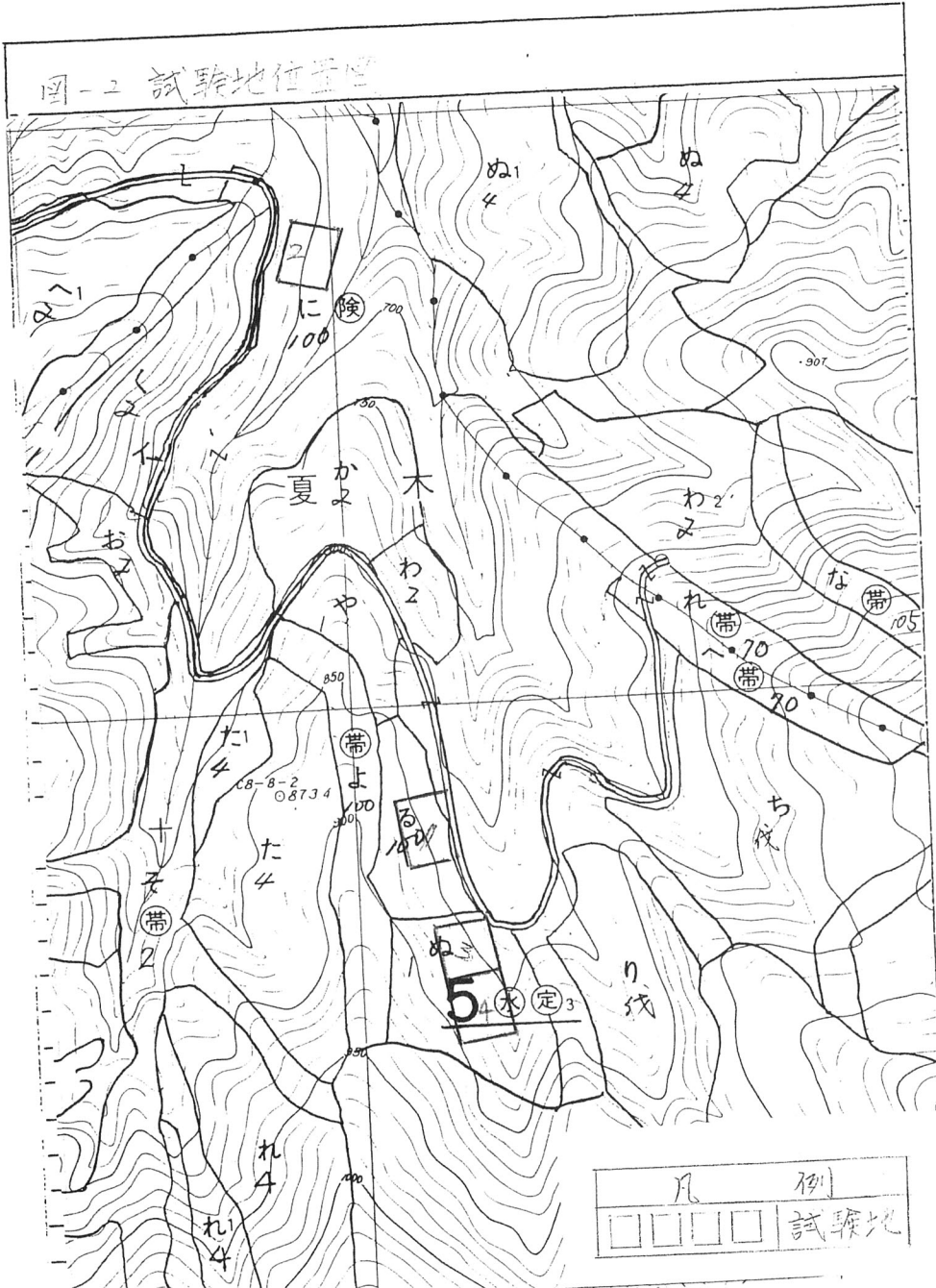


図-2 試験地位位置図



調査地域

(1) プロット No. 2 (樹下植栽区) の林況

面積 0.20 ha

表-1 調査前後の上木の樹種別本数枚積

区画	調査前 (上木)				調査後 (上木)			
	本数	径級	樹高	枚積	本数	径級	樹高	枚積
ナ	8	20	10	160	8	20	10	160
ス	6	20	10	120	6	20	10	120
シ	17	20	10	340	17	20	10	340
カ	7	20	10	140	7	20	10	140
計	38	20	10	760	38	20	10	760

(2) プロット No. 1 (林内/下植栽区) の林況

面積 0.20 ha

表-2 上木の樹種別本数枚積

区画	プロット内				他			
	本数	径級	樹高	枚積	本数	径級	樹高	枚積
ナ	1	20	10	20	1	20	10	20
ス	1	20	10	20	1	20	10	20
シ	15	20	10	300	15	20	10	300
カ	1	20	10	20	1	20	10	20
計	18	20	10	360	18	20	10	360

(3) 種子結実調査 (豊凶調査)

昭和61年 7-10月

(4) 種子採取

大口署 1.2 ha 加治木署 (落葉) 2 ha 琉球署 / 合計 4.5 ha

(5) 種子調査

昭和62年3月K延岡種苗センター

産地別 x 1 ha 産り種子 2 個

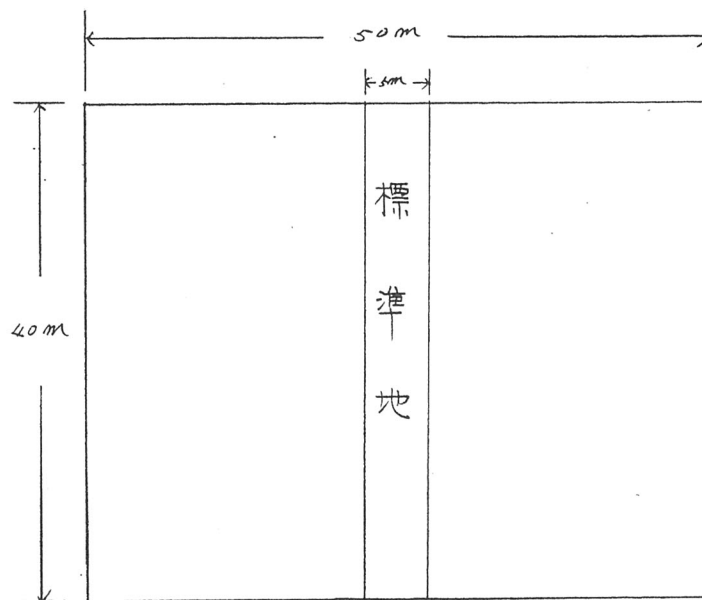
主として 14 cm x 12 cm、種子の深さ 約 5 cm

課 題	新規 別 継続	継続	経常、特別別 目標との関連	担 当	開 発 箇 所 延岡 造林課	期 間 昭和 47 年度 — 昭和 46 年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
	物件費	調査用品							円	千円			
目 的	カヤ林分育成試験 苗木植栽と人工下種による更新方法の試験を実施し、その成長経過の調査によってカヤの施業体系を確立する。								役務費	現像、その他			
									人件費	(基礎職)時	()	()	()
									計	—	/		()

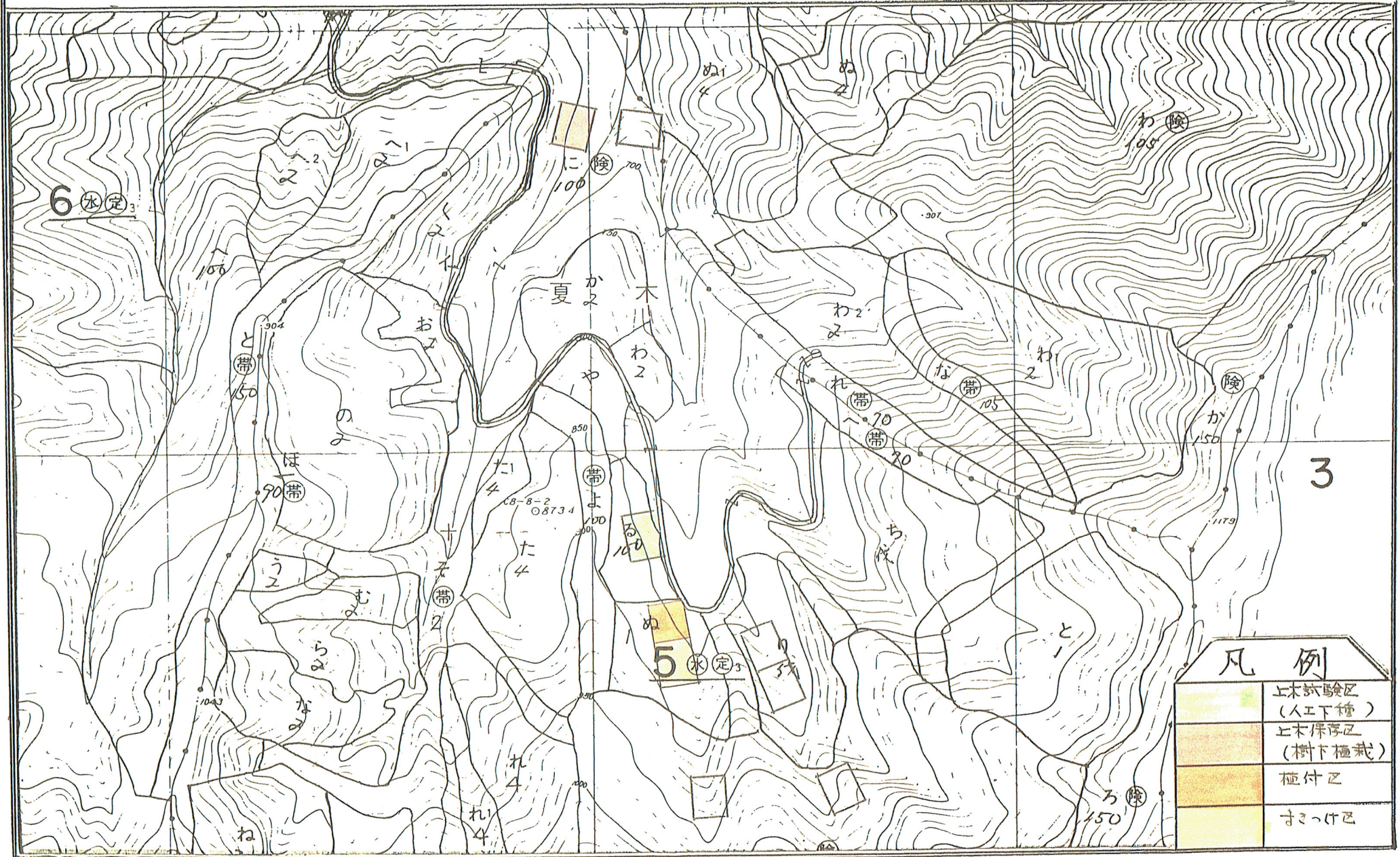
全 体 計 画	実 施 経 過	当 年 度 分		
		実 施 計 画	実 施 結 果	評価および普及計画
1. 試験地の区画 2. 試験地の本数調整 3. 成長量調査 4. 発芽、活着調査 5. 林内照度調査	1. 試験地の区画 2. 種子採取 3. 種子まきつけ	1. 発芽活着調査 2. 林内照度調査 3. 種子採取 4. 種子まきつけ	不実行 不実行 大口、薄生、珍珠 1.5kg, 2kg, 1kg	
			産別、保存方法別	

試験地設定図 0.20 ha.

カヤ林分育成試験



カヤ林分育成試験地位置図



凡例	
	上木試験区 (人工下種)
	上木保存区 (樹下植栽)
	植付区
	おまけ区

試験経過記録

区分指示

延岡 営林署

(様式4) ~ /

課題

カヤ林分育成試験

1. まきつけ区 (No. 4)
昭和61年3月直まき 100個 ----- 発芽本数無し ----- ねずみによる食害
2. 樹下植栽区 (No. 2)
0.20 ha. カヤ 7本 他樹 74本 計 81本
本数調整の計画有
3. 種子まきつけ
苗畑 約 5000個
4. まきつけの方法
 - ① 産地別 に 一区 2個あり。
 - ② まきつけの深さ 約 5cm
 - ③ " 間隔 14 x 12 cm

記載要領

1. 調査結果及び考察を記入する
2. 状況写真は別途整理する

試 験 地 設 定

区分指示

延岡 営林署

(様式-1)

開発課題	カヤ林分育成試験 (樹下植栽区)				期間	自62年度 至67年度	
開発目的	工芸的に価値の高いカヤ林分を造成するために苗木植栽と人工下種による更新方法の試験を実施しその成長経過の調査によってカヤの施業体系を図る。						
設 定	場 所	営 林 署	担 当 区	国 有 林	林 小 班		
		延岡	下赤	小日平	36と		
	数 量	面 積	数 量				
		0.20					
	設 定 年 月 日	昭和63年3月1日		終 了 年 月 日	昭和68年3月31日		
	担 当	営 林 局	造 林 課 造 林 係				
		営 林 署	経 営 課 造 林 係				
地況及び 気 象	標 高	方 位	傾 斜	基 岩	土 壌 型	土 性	
	290	NW	急	頁岩	BD-d	籾行土	
	深 度	堅 密 度				地 位	
	30未満	中				スギ	ヒノキ
					18	11	

林 令	林 種	樹 種	混交率	胸高直径	樹 高	材 積	本 数	相対照度	下層植生
46	人工林	スギ ヒノキ アケボノ ヤマヒノキ	10 2 38 50			279 96 1820 2.974	23 5 87 115		アリバイ フエイゴ ツメクサ カラスザンショウ ウラボシ シナオシ
		計	100			4789	200		
設 定 前 の 施 業 経 緯									
なし									
1. 試験地の設定 { 樹下植栽区 2. 試験地の本数調整 (植栽区 0.01 HA 3. 生長量調査 (毎年11月) 4. 林内照度調査 (8月) 5. 発芽活着 (まき付・植付時から2年)									
全 体 計 画									

記載要領 1. 区分は指示、自主、任意課題別とする。
 2. 全体計画欄は年度別、実施事項及び目標、また、林試等の指導関係を記入する。

試 験 地 設 定

区分 指示

延岡 営林署

(様式-1)

開発課題	カヤ 林分育成試験 (皆伐跡地区)				期 間	自 62年度 至 67年度
開発目的	工芸的に価値の高いカヤ林分を造成するために苗木 植栽と人工下種による更新方法の試験を実施し、その 成長経過の調査によりカヤの施業体系を固める。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">字目町</div>					
設 定	場 所	営 林 署	担 当 区	国 有 林	林 小 班	
		延 岡	下 赤	小 日 平	373	
	数 量	面 積	数 量			
		0.20				
	設 定 年 月 日	昭 和 68 年 3 月 1 日	終 了 年 月 日	昭 和 68 年 3 月 31 日		
	担 当	営 林 局	造 林 課 造 林 係			
		営 林 署	經 営 課 造 林 係			
地況及び 気 象	標 高	方 位	傾 斜	基 岩	土 壤 型	土 性
	300	N	急	頁 岩	BD-d	亂 行 土
	深 度	堅 密 度				地 位
						スギ ヒノキ
	30未満	疎				19 12

林 令	林 種	樹 種	混交率	胸高直径	樹 高	材 積	本 数	相対照度	下層植生
47	カヤ	スギ	40%			1,673	4,612		アリキツ
		ヒキ	8			333	1,918		フエイクゴ
		アカツ	2/			865	1,115		ツケツバラ
		N計	7/			2,983			カラスギンツバ
		L計	29%			1,201			ツラツロ
		計	100			4,784			ミナオツ
設 定 前 の 施 業 経 緯	なし								
全 体 計 画	1. 試験区の設定 (1) 皆伐跡地区 (植栽区 0.01 HA (植付区) 2. 発芽・活着調査 (植付・植付後時から2年) 3. 生長量調査 (毎年11月) 4. 相対照度調査 (8月)								

記載要領 1. 区分は指示、自主、任意課題別とする。
 2. 全体計画欄は年度別、実施事項及び目標、また、林試等の指導関係を記入する。